

遠賀

No.131 2014. 2.10

発行／福岡県遠賀町議会

議会だより

おんがちょう

特集

新春対談

・・・ 2

12月定例会

指定管理者の選定など

・・・ 4

10月臨時会

・・・ 6

一般質問

7人の議員が問う

・・・ 7

委員会レポート

・・・ 14

議会広報モニター募集

・・・ 15

傍聴席から一言

・・・ 16

島門小学校マラソン大会

平成25年12月7日

自分にできることで、被災地を応援したい 新春対談 *New Year Interview*



議長 本日は、絵画や

絵本などで活躍されている、さかいみるさんとの対談ですが、私は芸術など疎いので、よろしく願います。

作家になった動機は

議長 自己紹介と

絵本作家になった動機はなんですか。
みるさん さかいみんです。画家であり、絵本作家でもあります。

徳島県で生まれて、2003年から遠賀町に住んでいます。子どもの頃から



絵本を手にとると思わず笑顔がこぼれました

絵を描くことやお話を作るのが大好きで、毎日描いていましたね。東京で、絵の仕事をしていた、2000年に絵本「まよなかのぼうけん」を出版したのがきっかけでした。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

町民の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会に対する温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回、遠賀町虫生津で活躍されている画家のさかいみるさんと対談の機会をいただきましたので、その対談の様子を一部ご紹介いたします。

遠賀町議会 議長 奥村 守

この絵本は、神戸のインテリア関係の会社が阪神淡路大震災で被災し、復旧するために、多くの方々のお世話になったお礼として、震災の年に生まれた子どもたちが小学校に入学したときに、プレゼントされたものです。

被災地に絵本を届けるボランティアは

議長 東日本大震災の被災地に3万7000冊

絵本を送られたそうですが、たいへんな作業でした。打ちひし



絵本の地図は遠賀町がモデルになってました

がれた心の支援が必要で、お喜びになられたのではないですか。

みるさん 心の支えは、食

べ物や水と同じように大切に必要なことですよ。

実は2001年から宮城七ヶ浜町に、夫と仲間でワークショッ

プに訪れていました。

2011年に報道で震災を見て、初めは募金をしていましたが、

夫の「絵本を作って届けよう」という発案に、私も「自分でできることで、被災地を応援したい」と思いました。

夫はすぐに賛同してくる人を集めて「絵本deえがおプロジェクト」を始め、私は絵本を製作して、東日本へ送りました。

年1回、今年で3回目になります。

被災地の皆さんからメッセージは

議長 絵本を送られた所からの、反応はどうでしたか。その中で特に印象に残っている手



被災地から届いたメッセージとメチャくん人形

紙やメッセージは、ありますか。

みるさん たくさんあって、「ずっと無表情だった人が笑顔になって絵本を抱きしめていた」「子どもが絵本を離さないで、全部暗記している」

「防災グッズの中に一緒に入れている」「読みすぎてポロポロになったので、補修して読んでいる」「読んで前向きになれた。忘れないでいてくれた事がうれしい」などです。

今でも手紙が来ますし、返事をしていて、こちらが「ありがとうございます」の気持ちになります。

遠賀町の良いところと悪いところは

議長 遠賀町のイメージと良いところ、悪いところをお聞かせください。

みるさん イメージは、穏やかで明るく、災害も



今日の感想を絵に描いていただきました

なくて平和。緑がすごく多くて空が広く、遠賀川がかわいい。

良いところは、お米と野菜がおいしく、れんげや菜の花など、春の景色がきれいで、暮らしやすいですね。

悪いところは思いつきませんが、「遠賀の雫」

や「遠賀の赤芋」といったお酒があるので、女性や子どものお土産として「遠賀のおかし」のようなものがあればいいなと思います。

町制50周年記念シンボルマークは

議長 町の執行部からお願いさ

れ、構想が難しかったと思いますが。

みるさん 30周年記念のコンセプトを引き継いだモチーフで、遠賀川をハートで表現し、おひさま・スイセンをシンボルに描いています。長く親しまれ愛される、朗らかで元気なマークになるように製作しました。



議長 本日は、貴重な時間を頂き、ありがとうございました。



さかいみるさん

(虫生津、画家・絵本作家)

徳島県出身。平成11年から、画家としての活動を始める。

遠賀信用金庫のキャラクターにも使用されている「メチャくん」はじめ、数多くの作品を手がける。

現在、「絵本deえがおプロジェクト」を立ち上げ、東日本の被災地に創作絵本を無料で届ける活動を続けている。



※活動支援とボランティアへの参加は、いつでも募集されています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

●さかいみるさんのホームページ
<http://milart.info>



おんがえし
これからも遠賀絵師として頑張ってください

12月定例会は、平成25年12月5日から17日までの13日間開催されました。

議案は、指定管理者の指定や平成25年度補正予算など22件が上程され、慎重審議を行いました。

なお、今回の補正予算は、平成25年6月定例会で可決された三役と職員の特例に関する条例に伴う給与の減額分が主なものです。



遠賀総合運動公園の指定管理者に シンコースポーツ九州(株)を 選定

公の施設に係る指定管理者の指定

(賛成多数可決)

遠賀総合運動公園の管理運営を行う指定管理者の選定に当たっては、3社の応募の中から「指定管理者選定審査会」で審査を行い、シンコースポーツ九州株式会社を選定したものの。

同社は、資本金1億円、従業員2261人。スポーツ施設の管理専門業者で、全国の自治体の施設管理の実績があり、福岡県内では太宰府市や久留米市から指定管理者として委託契約されている。

なお、現在の雇用者は面接し、再雇用する意向である。

委託期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間。

平成25年度

一般会計補正予算

3003万円増額

(万円未満四捨五入)

(賛成多数可決)

第4回目の補正予算は、3003万円増額し、予算規模は67億634万円になりました。

今回の補正予算で、計上された主な事業は次のとおりです。



整備される今古賀交流広場

子ども・子育て支援システム構築業務委託料 1255万円

交流の場となるよう整備するもの。

子ども・子育て支援法(平成27年10月1日施行)の制定により、新しくシステムを構築するもの。

老良・上別府線改良事業を平成27年の供用開始に向けて工期を早めるためのもの。

子ども・子育て支援法(平成27年10月1日施行)の制定により、新しくシステムを構築するもの。

老良・上別府線改良事業を平成27年の供用開始に向けて工期を早めるためのもの。

今古賀交流広場整備費

590万円

町制施行50周年準備品

購入費

110万円

防災施設の駐車場として今古賀交流広場(役場南側)を舗装し、車40台が駐車できるように、また、町民の

町制施行50周年掲揚幕・ポロシャツ等を購入するもの。

請 願

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2014年度政府予算に係る意見書採択の要請（賛成少数不採択）

この請願は、35人以下学級の実現と義務教育費の国庫負担割合を3分の1から2分の1に復元することを要請するものである。

しかし、趣旨は理解できるが、「小学1、2年生の35人学級は実現しているが、それ以外の学年では、まだ予算措置もされていないのが現状で、まず35人学級を実現させる要請を行うべきだ」「国庫負担割合は、都道府県に関わる問題であるため、都道府県に請願を出すべきだ」との意見があり、不採択とした。



増え続けるプラスチック製容器包装ごみ

1、容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、分

次の3点を要望する。

自治体が税負担で容器包装を分別収集しているため、リサイクルに必要な総費用のうち8割が製品価格に含まれていない。

そのため、国に対して
（関係機関に送付）
自治体が税負担で容器包装を分別収集しているため、リサイクルに必要な総費用のうち8割が製品価格に含まれていない。

意見書

別収集・選別保管の費用について製品価格の内部化を進める。

2、レジ袋使用量を削減するため、有料化などの法制化について検討を進める。

3、²Rの環境教育を強化し、^再リユースを普及するため学校給食の牛乳のビン化を促進されるように様々な環境を整備する。

（注）2R
^発生^抑制
リデュースとリユース。

人事案件

人権擁護委員

（全員一致同意）

任期満了に伴い、再度推薦するもの。

内藤 正道さん

（遠賀川）

舛添 朝生さん

（松の本）

▽任期

平成26年4月1日～

平成29年3月31日

賛否が分かれた議案（○：賛成 ▲：反対 欠：欠席）

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
会議名	議案名	議員名	浜岡	萩本	織田	二村	仲野	加藤	中野	萩尾	三原	古野	堅田	平見	奥村	
12月定例会	公の施設に係る指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○		
	平成25年度遠賀町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○		
	平成25年度遠賀町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○		
	平成25年度遠賀町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○		
	平成25年度遠賀霊園事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○		
	平成25年度遠賀町学校給食事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
	平成25年度遠賀町地下下水道事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
	平成25年度遠賀町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
	平成25年度遠賀町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について		○	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	○	▲		

※全員一致の議案は除いています。

10月

臨時会

平成25年10月22日開催

10月臨時会は、舛添 副議長選挙

平見 光司

清美副議長が逝去されたことに伴う、副議長選挙等を行いました。

議会運営委員会委員の

また、一般会計補正 補欠選任

平見 光司

予算が上程され、慎重 審議を行いました。

副議長就任あいさつ

このたび、議員の皆様
さまよりご推挙いただき、遠賀町議会副議長
の要職に就任すること
になりました。大変名
誉なことであり、身に
余る光栄と感激いたす
とともに、責任の重大
さを痛感しているところ
であります。

誠に微力ではありま
すが、奥村守議長のも
と、遠賀町議会の公正
かつ円滑な運営に、最
大限の努力をいたす決
意であります。

今後とも皆さまがた
のご指導、ご鞭撻を賜
りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



遠賀町議会

副議長 平見 光司

遠賀・中間地域広域行
政事務組合議会議員の
補欠選挙
平見 光司

議席の一部変更

6番 欠番
13番 平見 光司

平成25年度
一般会計補正予算
3639万円増額
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第3回目の補正予算
は、3639万円増額
し、予算規模は66億7
631万円になりました。

今回の補正予算で、
計上された主な事業は
次のとおりです。

町制施行50周年記念モ
ニユメント設置工事

315万円

町制施行50周年を出
発点として保存してい
くモノユメントを設置
するもの。

議会の立法機能が少ない 末吉 元北九州市長が熱弁

遠賀郡議長会議員研修

遠賀郡4町議員の研
修と交流を深めるため、
毎年開催している郡議
長会主催の議員研修会
が、いこいの里（岡垣
町）で平成25年10月30
日に開催されました。



熱弁する末吉興一さん

今回の講師は、元北
九州市長の末吉興一さん。「隣町の首長、20年の経験を
語る」と題しての講演で、「首長と議会、それと職員が
変われば自治体は変わる」「世の中に変わらない制度は
ない。固定概念を打ち破るチャレンジが、改革を生む」
と、市長20年の経験をもとに語る姿に今だ健在なパワ
ーを感じました。

さらに、「議会は立法機能が少ない。特に議員の条例
提案が少ない」と、厳しい意見に反省させられる1日
でした。

広渡学童保育クラブ施設 改修工事

88万円

正面入口の屋根に庇
を付け、ウッドデッキ
に雨が降り込まないよ
うに環境整備するもの。

北学童保育クラブ施設 改修工事

76万円

台所のガスコンロと

壁との間隔が狭く、火
災の危険性がある流し
台の改修と、和式から
洋式に変更するトイレ
の改修を行うもの。

変更するための設計を
行うもの。

庁舎空調改修工事実施 設計業務委託料

300万円

庁舎1階部分の空調
を灯油ボイラーの一括
式から電気の間接式に



改修が行われる庁舎1階の空調



はぎもと えつこ
萩本 悦子



防災分野に女性の視点は



災害備蓄品、避難所等に女性の意見を取り入れる考えだ



女性防火・防災クラブの
非常持ち出し袋ワークショップ

災害備蓄品に女性の視点を

議員 本町の災害備蓄品の品目・数等について今まで女性の意見を聞いたことはあるか。

総務課長 内部的にはないが、萩本議員が過去から指摘された部分での充足はある程度してきたと思う。

議員 女性は育児・介護といった生活の部分に多く関わってきている。災害備蓄品については男女のニーズの違いはもちろん、子育て家庭や高齢者家庭のニーズの違いにしっかり配慮すべきだ。この部分に女性の意見を取り入れることも「防災分野の女性の視点を」という本町の地域防災計画の取り組みの一つと考えるが。

町長 そのとおりだ。災害備蓄品だけではないが、

く避難所のあり方についても女性の意見を取り入れてしっかりやらなくてはいけない。

内水ハザードマップの作成は

議員 近年の浸水被害では、集中豪雨によって下水で排水できずに市街地にあふれ出す内水氾濫が多くなっている。そこで内水ハザードマップを作成すべきと考えるが。

町長 本町は7割が平坦地なので、対応はしっかりやらなければならない。

議員 「大雨が降れば、千代丸のガード下は冠水する」というような町内の浸水しやすい箇所は町として当然、把握していると思う。このような場所は、平時から住民の皆さんにお知らせすべきだ。そのため内水ハザードマ

ップはぜひ必要だ。

町長 町内の浸水箇所は、十分把握しているので、全町的に住民の皆さんにお示しするという意味では研究しなければならぬ。

耐震補強工事補助率のアップを

議員 今年度から始めた木造戸建て住宅の耐震補強工事の補助率をもう少し引き上げる考えはないか。

町長 補助率を上げれば、補強工事をやっていただけなのか、補助率を上げたとしても自己負担しなければならぬ部分があるので。家庭の事情等を含めて考えていかなければならない。とりあえずは、今の制度（工事費用の2分の1、60万円を限度）を住民の皆さんに啓発していくべきと考える。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



全国学力テストの結果を学校別に公表すべきだ



おだ たかのり
織田 隆徳



教育委員会で統一して公表しないが、学校ごとに公表する

平成25年度全国学力テストの結果

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
遠賀町	64.7	52.2	79.3	60.9
福岡県	63.2	49.1	77.2	58.7
全国	62.7	49.4	77.2	58.4

中学校	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
遠賀町	75.4	63.2	59.5	35.8
福岡県	75.4	66.5	62.0	39.8
全国	76.4	67.4	63.7	41.5

学力テストの結果を公表すべきだ

議員 文部科学省は、全国学力テストの結果を学校別に公表することを認めた。保護者は子どもの学校の学力に関心がある。

また、学力向上の観点から、学校間で切磋琢磨して競い合うことも必要ではないか。公表すべきだ。

教育長 教育委員会で学校別に比較して公表する考えはない。各学校別に改善点を示して出すことは認めている。

学力評価の基準を統一すべきだ

議員 学力評価において教育委員会より学校側の評価が低い。

教育委員会側の評価が甘い、評価基準を統一すべきだ。

教育長 目標数値を学校に任せており、学校側は厳しく付けてくる傾向がある。統一したい。

ホームステイを実施すべきだ

議員 国際感覚を身に付けさせるため、中学生の海外へのホームステイを実施すべきだ。

教育長 小さい時から海外に接することは大事だと捉える。以前、実施していたが費用対効果の面から小学校のALT（外国人教師）採用に振り替えた。

議員 教育長が必要と考え、やりたいと思うならば町長部局と協議して予算措置をし、実際に努力することを提言する。

広域組合での中間市の取り扱い

議員 遠賀・中間地域広域行政事務組合は、

「し尿処理」「火葬施設」「ごみ処理」「消防」の4事務を共同処理しているが、中間市は消防に加入していない。理事会や議会での中間市の取り扱いはどうにされているか。

町長 理事会や議会での議決権は中間市にも付与されている。しかし、理事会では郡内町長の賛成が必要であり、議会でも郡内選出議員の3分の2以上の賛成が必要と、特別議決の規定が設けられている。

議員 消防設備は、遠賀郡4町エリアで整備が完了した。現時点では、中間市の加入を認める余地がないと考えるがどうか。

町長 中間市との小規模合併は、十分な効果が期待できない。従来どおりやるべきと考え

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。



はまおか みね さと
浜岡 峯達



平成26年度の予算編成は



国、県の予算編成動向を注視し、的確な予算編成が基本方針の骨格



改修予定の
総合運動公園テニスコート

新年度予算はどのような方針か

議員 第5次総合計画

および事業計画に基づいて、新年度予算はどのような方針で臨もうとしているのか。

町長 本町は学校中心

に老朽化対策や公共施設を中心をやつていて、今から橋梁、道路、水路を含めてかかつてくるのではないかと理解をしている。

行政経営課長 インフラ長

寿命化基本計画は、総務省から通達が来たので、個別の計画に合わせ全体のインフラ計画を準備中。

議員 本年度の施政方針

の中で、国際交流の推進について述べられているが、平成26年度は具体的に施策を立ててやるのか。

町長 平成26年度について

は具体的な方策は

ないが、再整備をすべきではないかと思っ

議員 スポーツ振興予算の拡充はないか

ている。に対する予算の拡充をす

町長 スポーツ関連事

業としては、記念事業の位置付けで、町民の皆さんが一同に集うスポーツやレクリエーションに参加できる町民オリंपピックを予定している。

教育長 平成26年度の

スポーツ振興関連予算として、総合運動公園のテニスコートの改修工事を予定している。

議員 町制50周年記念

事業で、全国交流レガッタ大会に二艇派遣の計画があると聞くが今後継続して二艇派遣の考えはないか。

町長 町制50周年事業

として、計画を出させているが、基本的には今回のみと考えている。

教育長 基本計画の中で

は、冠事業として位置付けているが、現時点では予算が伴うので、今回のみと捉えている。

議員 ふれあいウオー

キングに幅広く住民の皆さんに参加してもらう方法は何か。

生涯学習課長 ウオーキ

ング等健康志向は住民の皆さんに高まっているので、今後もっと積極的に募集をしていきたいと考える。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



乳幼児子ども医療制度の助成対象年齢拡大に踏み出せ



かただ しげる
堅田 繁



6年生まで拡大する方向で検討している



助成対象年齢を拡大して、子育ての負担軽減を

子どもの健やかな健康支援の充実を

議員 9月議会で町長は、「助成対象年齢の拡大も視野に置きつつ検討する。現在は検証中だ」と答弁された。

検証を終えて、乳幼児子ども医療制度のさらなる助成対象年齢拡大に踏み出す考えはあるか。

町長 この制度は、子育て支援の一つの柱だ。よって、持続可能なものであるべきだ。検証を重ねた結果、6年生まで拡大する方向で検討している。具体的には、新年度の方針に掲げ、議員各位に協力をいただきたい。

議員 なぜ助成対象年齢拡大の決断に至ったのか。

町長 近隣自治体においても、拡大の方向が確認される中、子ども

の自己管理などを考慮すると拡大すべきだと考えた。

議員 子育て中のお父さん・お母さんの背中を優しく押してあげるのが、町長の政策だ。新年度予算にこれが反映されることを願う。

児童虐待対策の進展状況は

議員 町内の児童虐待の実態をつかんでいるか。

福祉課長 児童虐待3件、ネグレクト2件の相談を受けた。あくまで疑いということ、別居している祖母や保育園、病院からの情報提供があった。

議員 その件は解決したのか、継続中なのか。
福祉課長 最終判断では虐待とは認定していない。あくまで疑いがあるというかたちで、状況調査を行い、学校関

議員 それ以外の相談はあるか。

福祉課長 虐待の観点からではなく、子育てに関しても、妊婦の時から子どもが幼児期に至るまで112件を受けた。

議員 相談しやすい体制の強化を図るべきだ。
町長 職員の配置も含め相談体制をしっかりと今からつくっていく。
(注) ネグレクト

「病気になるっても病院に連れて行かない」「衣服や食料を与えない」など、子どもに対する育児放棄のこと。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。



なかの 仲野
しんざぶろう 新三郎



ふれあいの里の管理運営をどのように考えているか



指定管理のあり方を再度精査し、検討していく



憩いの場として
利用されているふれあいの里

指定管理者でなく
行政が管理すべき

議員 今後、ますます

高齢化が進行していく中で、社会福祉協議会は地域の社会福祉を推進する中心的な団体として活動していかねばならない。そのためにも社会福祉施設のふれあいの里は、行政が責任を持って施設の管理運営を行っていくべきだ。

町長 ふれあいの里の運営については、社会福祉協議会が実施することにより地域福祉の重点拠点としての効果や、開設当初から委託事業として関わってきた経緯もあり指定管理をお願いしている。平成26年度末をもって第2期の指定管理が終了するが、年明けに理事会と協議をする予定だ。

議員 指定管理制度に

おける評価は重要だと思いが、管理運営が協定どおりになされているかを客観的で専門的な評価が行えるように、民間評価機関による第三者評価制度を導入する考えはないか。

副町長 社会福祉協議会としてはアンケート調査に委ねており、第三者機関等の設置はなされていない。

議員 ふれあいの里の管理業務は行政が行っていくべきだと私は思うが、指定管理で行うのであれば、民間企業も含めた中でのしっかり審査して選定する必要がある。そのためにも第三者評価制度による評価が重要である。

町長 評価と今後の課題について、社会福祉協議会と協議していく。

総合運動公園の整備計画は

議員 既存の施設の効果的かつ効率的な維持管理を行うために、総合的・長期的な整備計画を立て、施設の長寿命化や安全性の確保、コスト削減に取り組む必要があると考えるが、

町長 安全・安心に施設を提供するため、適時維持補修を実施するとともに、計画的に施設の改修に努める。

教育長 総合運動公園の整備計画の作成も視野に入れながら、町の事業実施計画に沿った整備を計画的に進めていく。

議員 住民ニーズに的確に対応していくためにも、住民との協働で進めていかなければならない。補修・改修だけではなく新しいものも取り入れていく、住民ニーズに沿った施設整備計画を立てるべきだ。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongata.lg.jp/>)で公開します。



学校は家庭・地域との関わりをどう思っているのか



家庭・地域・PTAの理解と協力は不可欠と思っている



みはらみつひろ
三原 光広



保護者も参加する
島門小学校のもちつき集会

家庭・地域・PTAとの関わり

議員 近年、毎日のように新聞やメディアで、乳幼児・児童虐待や暴行、いじめ、体罰、犯罪の低年齢化と何とも寂しく痛ましい事件や問題が多く報じられている。

過去を振り返ってみると事件や問題がなかったわけではないが、ここまで多く起こっていたであろうか。

全く起きないことは難しいが、少なくともためにも児童・生徒時代の学校、家庭、地域教育が重要ではないか。

各学校では家庭、地域、PTAにどのような取り組みや考え、思いで関わっているのか。また、関わろうとしているのか。

教育長 学校教育は、校長の適切なリーダーシ

ップのもと教職員一丸となり教育の質を児童生徒および保護者に担保していくことが重要

で、学校が確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、教育活動を充実させていくことが必要である。

よって、学校は学校の主体的な取り組みとともに、家庭・地域・PTAの理解と協力は不可欠である。

また、学校だけでは児童生徒に生きる力の基礎を育てることはできない。学校・家庭・地域・PTAが一つとなつて連携・協力した取り組みを展開していくことが重要である。

教育委員会としては、質の高い教育を保障するため、学校の情報発信や公開実施、PTAとの協力、地域関係者との連絡など、今まで

以上に行っていくよう、

各学校を指導・支援していく。

議員 現在、本町の0歳から6歳児が1学年に160人から180人在住する。今後ますます関係が重要になってくる。

今以上に、学校が家庭・地域・PTAと一緒になつて課題や改善に取り組みむべきである。

教育長 校長会でも、それぞれの課題や改善に取り組みむよう、指導や支援して行きたいと考えている。

議員 現在、社会情勢や生活スタイルがどんどん変わる中、幼児・児童・生徒を、安心して、豊かな人間性や優しさ、たくましさを培って、本町で育ってよかつたと、本町で頑張ってくれるように、取り組みむべきだ。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



はぎ お おさ み
萩尾 修身

Q

理解不十分な子どもをどうフォローするのか

A

指導方法等の工夫改善を進め、学習内容の確実な定着を図っている



テストの結果を授業に活用

全国学力調査の発表の仕方は

議員 学力調査を学校別発表が望ましいとの流れが強まっているが、どう捉えているか。

教育長 この調査の本来の目的である教育および施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善につなげることや、過度な競争や序列化が生じないようにすることなど、教育上の効果や影響に十分配慮することが重要。

議員 教育の成果の一部でしかないテストの点数で、学校が振り回される可能性があると思うが。

教育長 その点がやっぱり危惧していることだ。混乱を招かないよう対応している。

議員 過度な競争や学校の序列化を避けるために守るべき配慮事項

があるが守られる保障はあるか。

教育長 調査目的がはっきりしているので、きちっと守らなければいけないと捉えている。

議員 我が子が通う学校の平均点が示されれば、教育熱心な方ほど声を出されると思うが学校における対策は。
教育長 結果がどうだったのか、どう改善していくのかを含めて保護者にも説明している。

理解不十分な子どもの対策は

議員 競争が激化していくと、どうしても授業についていけない子どもが増えると思うが。

教育長 理解不十分な子どもに対して、きめ細やかな指導を展開し、基礎・基本の確実な定着を図っている。

議員 家庭との緊密な連携をとりながら、家

庭学習の習慣化を含めてフォローしていくとのことだが。

教育長 家庭学習の手引きや自学ノートなどを活用して、家庭学習の時間を確保する。それを即日チェックするなどして、きめ細やかな指導をしている。

議員 子どものできない部分を保護者や本人が知っておくことは大事だと考えるが。

教育長 理解不十分な子に関してはどこがどうなっているかなどを知らせている。

議員 学校の中だけで解決できない部分に関しては、いろんな方の力を借りて、子ども一人一人が持っているすばらしい能力を引き出してほしい。

※この他にも「遠賀総合運動公園」について質問しました。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



委員会レポート

学校の現状は

学校を訪問しました

第一常任委員会

平成25年11月6日に、町内の各学校と給食センターの視察を行いました。

各学校とも落ち着いた授業風景で、電子黒板やパソコンなどのICT教育機器が取り入れられた効果的な授業が行われていました。



遠賀南中学校の授業風景

また、子どもたちには、ただ単に知識を詰め込む授業ではなく、知識を活用する力、読み取る力を育む授業が行われており、子どもたちはそれぞれの考えを活発に発表していました。お昼には、ポリウムたつぷりのおいしい給食の試食も行いました。ただ、食器がアルマイトだったのが残念でしたが、食器の変更は、現在計画されている食育・防災センターの完成時に行われる予定とのことでした。一日かけての視察でしたが、各学校とも掃除が行き届き、また子どもたちの元気のいいあいさつで、気持ちのいい視察となりました。

基地内の

松の状況は

航空自衛隊芦屋基地 現地調査

基地対策特別委員会

平成25年12月17日に、平成24年の現地調査以降に整備された施設とその整備に関わる松植樹、その他基地内松植樹（公務員宿舎、教育実習場補完補植を含む）状況を調査しました。施設整備については、平成24年12月に完成した、教育実習場の説明を聞きました。

ここは、車両整備を行う実習場であり、整理整頓が行き届き、この施設に関わる松の補植は、32本が2m間隔で植えられ、2本枯れて補完補植されたのも確認しました。その他基地内松補植は、主に海岸線に沿って黒松が600本が1



海岸線に植えられた黒松

mの間隔で密植され、海風が強いので防風ネットも設置されています。密植しているのが木がある程度大きくなって間引し、松林にするそうです。また、昨年植えた苗木も、順調に育っていました。海岸近くには飛来塩分調査の機器が設置されており、その説明も受けました。調査は基地内外7地点で行われており、遠賀町内は島津、鬼津、尾崎の3地点で行われています。



町村議会広報研修会に参加

議会広報紙の クリニックを受ける

広報調査特別委員会

平成25年11月18日・19日の二日間、福岡県自治会館（福岡市）で芳野政明さん（編集・出版アドバイザー）による研修を受けました。

一日目は『議会広報コンクール受賞紙から学ぶ』と題して、全国コンクールの優秀紙から具体的に評価を受けた部分をピックアップし、編集に生かす技術を学びました。

二日目は「『伝える』広報から『伝える』広報」と題して、議会広報の基本と編集技術を学びました。午後からは各町村の広報紙をクリニック

していただき、紙面を評価しながら実践的な指導が行われました。本町の広報紙もクリニックしていただき、他紙と比較し優れているところ、改善するところ、細部にわたり指摘を受けました。

今回の研修を生かし、今後も町民の皆さんが手に取って見たくなる分かりやすく、親しみのある、議会広報紙作りに取り組んでいきます。



受賞紙を紹介する芳野政明さん

皆さんの力で議会だよりをより良いものに 議会広報モニター募集



広報調査特別委員会では、「議会だより」に関して、町民の皆さんからの意見や感想、提言などを幅広くお聴きし、「議会だより」をより良いものにするため「議会広報モニター」を募集いたします。

毎定例会ごとに発行される「議会だより」について、アンケートに答えていただいたり、意見交換会に参加したりしていただきます。

【対象・申込方法など】

- 対象 左記の条件をすべて満たす人
 - ①遠賀町に住んでいる20歳以上の人
 - ②議会広報に深い関心があり、公正な社会的見識がある人
 - ③現在、常勤の公務員でない人
- 募集人数 5人以内
- 任期 平成26年4月1日～平成27年3月31日

●申込方法

専用の申込用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業と、モニター応募の動機または議会だよりの感想を記入していただき、議会事務局に提出してください。

※申込用紙は、議会事務局（役場2階）に準備しています。

●締め切り

2月28日（金）午後5時15分（必着）

●その他

▽モニターの選考は、年齢や性別、居住地域などを考慮し、厳正に行います。

▽選考結果は通知しますが、選考内容の公表は行いません。

●申し込み・問い合わせ

遠賀町議会事務局

〒811-1439

遠賀郡遠賀町大字今古賀513番地

Tel 093（293）1235



傍聴者から一言

平成25年12月10日に
行われた一般質問の傍
聴に、政治学級から11
人の皆さんが訪れ、議
場で行われる議員と町
長・教育長たちの議論
に、耳を傾けていまし
た。

傍聴後に皆さんから
頂いた感想（二部抜粋）
を紹介します。

町の施策が、どうい
う考えで取り組みされ
ているのか分かり、貴

重な体験だった。

二つの質問があると
き、二つの答弁を先に
町長と教育長が出て別
の質問を答えて、また
後から一つずつ質疑応
答していくのはおかし
くないですか。

本町議会の一般質問
では、最初に一括して
質問・答弁し、その後
の再質問は、一問一答
で行う方式を採用して
います。

現在、議会改革の一
環として、最初から一
問一答方式を採用する
ことも検討しています。

【政治学級の紹介】

身近な問題と政治の
関わりを知り、政治に
対する正しい理解を深
めることをテーマに学
習している自主学習グ
ループです。



政治学級の皆さん

謹んで新年のお慶びを申し上げます

遠賀町議会議員一同



- 下段左から
- 浜岡 峯達
 - 古野 修
 - 平見 光司
 - 奥村 守
 - 堅田 繁
 - 三原 光広
 - 二村 義信

- 上段左から
- 萩尾 修身
 - 萩本 悦子
 - 中野 嘉徳
 - 加藤 陽一郎
 - 織田 隆徳
 - 仲野 新三郎

遠賀議会だより

発行責任者

議長 奥村 守

広報調査
特別委員会

委員長

萩本 悦子

副委員長

平見 光司

委員

織田 隆徳

仲野 新三郎

加藤 陽一郎

萩尾 修身

3月です

次回の定例会は

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は、2月下旬に遠賀町ホームページ
(<http://www.town.onga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター



平成26年の新春を迎え、皆さんはどんな目標を立てられましたか。さて、私たち広報調査特別委員会は議会、だよりを「一人でも多くの方に読んでいただく」ことを合言葉に、町村議会広報全国コンクールで上位入賞の議会へ視察に行ったり、県や全国の研修で学んだことを取り入れたり、試行錯誤しながら紙面作りに取り組んできました。今年からはモニターを皆さんから募集して読者の声を紙面作りを生かしていければと考えています。

常に議会活動を町民に知っていただくことを基本に、町政に関心を持ってもらえるように「読みたくなる議会だより」を目指していきます。 萩尾 修身

議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。遠賀町議会事務局 ☎093 (293) 1235 e-mail : gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp

2014.2.10 遠賀議会だより No.131

発行／福岡県遠賀郡遠賀町議会 TEL093(293)1235
編集／広報調査特別委員会